

事務事業名	吉田パーキングエリア整備事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	総合計画体系 (II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	国県事業G	課長名	森田 一
施策名	(08) 高速・広域交通網の整備	担当者名	三島祐一	電話番号 (内線)	0854-40-1062 3737
基本事業名	(022) 高速道路の整備促進	予算科目	会計 科目 0140101508	中事業	高速道路整備関連事業

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (18年度~24年度)	(事務事業の概要) ・吉田地域活性化施設と追加ICに関する関係機関の協議・調整 (具体的なやり方、手順、詳細) ・高速道路の開通に併せ道の駅として供用開始できるよう協議・調整を行う。また追加ICについても、同時期の連結を目指す。	平成18年度から本格的となった中国横断自動車道尾道松江線の(仮称)吉田PAの具体化を促進するため、その利活用を含めた検討を市及び地元(吉田町・掛合町)が進めることとなった。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
地域活性化施設設計費:3,171千円	国庫支出金	千円			17,028	67,405		84,433
地域活性化IC線整備費:60,000千円	県支出金	千円						
	地方債	千円		14,600	40,800	207,100		262,500
	その他	千円						
	一般財源	千円	3,300	4,472	5,343	1,895		15,063
	事業費計(A)	千円	3,300	19,072	63,171	276,400	0	361,996
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人	1	1	2	2		
地元協議会との協議調整	延べ業務時間	時間	480	480	640	960		
国土交通省との協議調整	人件費計(B)	千円	1,831	1,866	2,523	0	0	
工事発注及び施工管理	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,131	20,938	65,694	276,400	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	・国・県及び地元協議 ・地域活性化施設整備基本方針決定 ・IC線土木工事発注及び施工管理
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	・地域活性化施設詳細設計 ・地域活性化施設建築工事発注及び施工管理 ・IC線舗装工事発注及び施工管理

指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
⑤ 活動指標							
ア 用地買収	%	70	100				
イ 工事進捗率	%		0	20	100		
ウ							
エ							
オ							

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	・高速道路利用者 ・吉田地域への観光客 ・吉田地域の住民							
	⑥ 対象指標							
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	・安全・迅速に高速道路を利用してもらう。 ・吉田地域への観光促進 ・吉田地域における利便性の向上							
	⑦ 成果指標							
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	・市外主要都市と雲南市を安全で迅速に移動できるようにする。							
	⑧ 上位成果指標							
	ア 立寄り人数	人/日			0	2000		
	イ 地域活性化IC利用台数	台/日			0	300		
	ア 年間利益額	千円			0			
	イ 年間観光客数 (島根県観光動態調査)	人/年	10543	10000	10000	12000		
	ウ							
	ア 高速道路整備率(三刀屋木次IC~三次ICT)	%			20	100		
	イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
中国横断自動車道尾道松江線が国土交通省による新直轄事業となり、高速道路本線上での施設整備が出来なくなったことから、雲南市として高速道路隣接地に道の駅として地域活性化施設の整備を行う。	高速道路本線上の施設整備が出来なくなったことから、道の駅として施設の認知を図ることとした。また、公設民営によりランニングコストの削減を図る。	地域活性化施設計画については、合併前から協議がなされており、観光産業に寄与する追加IC設置についても、地元地域からの要望がなされている。

事務事業名	吉田パーキングエリア整備事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↘ 観光産業の促進や、高速道路を利用しての地域振興するための事務事業である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↘ 吉田PAは高速道路事業の一部となっており、関係機関協議を円滑に行ない雲南市の発展に寄与できる方策を取る必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↘ 観光産業は直接は「鉄の歴史村」であるが、観光ルートの設定により市内全域を対象としなければならない。地域振興も直接的には吉田町が対象となるが、吉田PAを情報発信拠点としての恩恵は市内全域が対象となるように取組まなければならない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↘ 利活用する工夫を各振興部門や地元が創造することにより、成果の向上余地はあると考える。関係機関との協議成果についても県と連携を密にして取組むことにより、成果をあげることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↘ 廃止・休止した場合、吉田PAは国の必要な機能のみの施設となる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↘ 統廃合はできない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 高速道路の利活用の検討については事業費はない。造成やアクセス道路整備の事業費については、国にお願いして事業費が削減する方法で整備する。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 関係機関との協議・調整に時間を要しており削減余地はないが、方針決定が図られれば必然的に所要時間は減少する。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↘ 吉田PAの取り組みについては一部(吉田町・掛合町)の受益となるが、観光産業など市内全域を対象となる要素もあり、高速道路の活用方法の検討・工夫により雲南市全域が受益対象者となる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	高速道路建設の事業主体である国土交通省と協議しながら、高速道路に付随する市の事業も進め、工事コスト、ランニングコストが軽減されるよう検討していく。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									
特になし																									